



元三田文化協会会長  
山口武宏

大阪にある難波橋のライオン石像を見たことがありますか？  
1875(明治8)年に、三田藩士の家系として屋敷町に生まれた彫刻家「天岡均」は東京美術学校で高村光雲に師事した著名な彫刻家です。生家は三田市屋敷町カトリック教会のすぐ下にあります。  
彼の作品は残念ながら太平洋戦争の金属供出で消失したものが多くありますが、1915(大正4)年に制作された大阪北浜、堺筋の難波橋にある4体のライオン石像は石であったために供出を免れ今も凛として存在して大阪を見守っています。尚、難波橋はライオン像に因んでライオン橋とも呼ばれています。

大阪にある難波橋のライオン石像を見たことがありますか？

## 三田ごぼれ話



第5話

あらゆる人と共に...



6月号  
2026  
vol.187

三田市議会だより



予算審査\3月定例会の結果\代表質問\さんだ声ひろば\高校生議会



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

議会の情報は

市議会  
Facebookを  
チェック!



本会議、委員会の日程や市議会からのお知らせなどを掲載しています。ぜひご覧ください。

フェイスブックは右記二次元コードからもご覧いただけます。



6月定例会は6月1日に開会予定です

6/ 1(月)	10:00~	本会議
6/ 2(火)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
6/ 3(水)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
6/ 4(木)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
6/ 8(月)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決
6/16(火)	10:00~	本会議 一般質問
6/17(水)	10:00~	本会議 一般質問
6/18(木)	10:00~	本会議 一般質問(予備日)
6/25(木)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

\*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

### 表紙紹介 ホタルの光

幻想的な淡い光を放ち夜空に舞うホタルの姿は、夏の始まりを告げる風物詩です。ホタルは、山・川・田が1カ所にそろっていると多く生息し、風のない蒸し暑い日の日没から1時間程が最も活動的です。ぜひホタルを探しにでかけてみてくださいね。

三田市在住のイラストレーター、  
宮館みえりさんに描いていただきました。



三田市議会だより つなぐ 2026.6 vol.187

〒669-1595 三田市三輪2-1-1  
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992  
✉ gikai\_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

[https://www.city.sanda.lg.jp/shisei\\_joho/gikai/index.html](https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html)

三田市  
議会HP



広報委員会

[委員長] 大西雅子 [副委員長] 福本愛  
[委員] 大西憲司 假屋浩司 水元サユミ 小山裕久

編集  
後記

三田市議会だより「つなぐ」では、本議会や委員会、議会活動の様子などを、よりわかりやすくお伝えすることを大切にしています。市民の皆さまの声にしっかりと耳を傾けながら、開かれた議会を目指し、これからも紙面の充実に取り組んでまいります。(福本)



この広報紙は環境保護のため、  
植物油インキを使用しています。

26議8-021A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube  
本会議の録画映像を公開しています。

Facebook  
市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



SANDA CITY COUNCIL

予算決算常任委員会 新年度予算案を厳しくチェック! ✓

# 令和8年度の予算について審査しました

一般会計 536億3,700万円

総額 915億4,796万円

※総額のうち

特別会計 237億4,820万円 企業会計 141億6,276万円

「選ばれるまち三田～暮らしやすさ実現予算～」と位置付け編成された新年度予算。さまざまな事業が盛り込まれています。市議会では、3月定例会会期中に、新年度予算を審査する予算決算常任委員会を開催しました。委員会で審査した内容の一部をご紹介します。

## 令和8年度予算の重点施策 選ばれるまち三田～暮らしやすさ実現予算～

8つの重点地域課題を解消するための取組を細やかに実行することで、厳しい財政状況にあっても将来に向けた明るい未来が展望でき、市民の皆さんが安心できるまちづくりを進めます。

- |             |            |                      |            |
|-------------|------------|----------------------|------------|
| 1 人口減少抑制    | 41億6,593万円 | 5 こどもの命を守り、育ちを支える    | 21億6,659万円 |
| 2 担い手(人材)確保 | 2億1,344万円  | 6 美しいまち三田            | 31億9,141万円 |
| 3 健康寿命延伸    | 1億8,468万円  | 7 安全安心で利便性にすぐれた基盤づくり | 59億4,998万円 |
| 4 地域のつながり強化 | 1億2,432万円  | 8 信頼される市役所           | 3,669万円    |



▶▶▶▶ 新年度予算 PICKUP! ▶各分科会や総括質疑での審議内容をQ&A形式で紹介いたします! 議員 = 市

### 新年度予算編成に対する財政の健全化に向けた取組

- 三田市未来への財政ロードマップ策定後の予算編成であるが、過去最大の予算規模となっている。今後10年間の収支不足に対し、どのような事業見直しを行ったのか。
- 財政ロードマップ第1次実行計画に基づく取組項目として、歳入では使用料・手数料の改定や講座受講料の適正化等、歳出では再エネ共同オークションによる電力経費縮減や事務の効率化による経費見直し等を反映し、必要な予算を確保しつつ財政健全化の推進を図っている。

### 資源ごみ等選別物売払収入

- ペットボトルの水平リサイクルは、ごみの減量や再資源化に資する有益な事業であるものの、当該協定書に基づく売買契約の締結は、決定プロセスや事業者の固定化など公平性・透明性に欠けると考えるが、市の見解を伺う。また、公民連携を推進する上で、協定を優先する契約の考え方は。
- 一般廃棄物処理基本計画に基づく取組等、事業推進に必要な条件を満たすと判断の上、協定締結に至ったが、有効期間満了6カ月前までに契約解除等意思表示が可能な協定であり、自動更新が前提ではない。当該契約等法的に問題はないが、事務手続きは指摘事項を真摯に受け止め慎重に対応していく。また、協定優先の契約に金銭が伴うならば、透明性・公平性を文書で担保すべきと考える。

### ふるさと納税にかかる寄付金

- 「ありがとう!三田っ子応援寄付金」について、令和7年度実績見込みが約3億円にも関わらず、5億円を計上している根拠は。
- 目標として5億円を掲げ、さらなる返礼品の魅力向上及び効果的な情報発信の強化により、目標額達成を目指す。リピーターの増加を促すことで、ふるさと納税寄付額上昇につなげていく。市の魅力周知について、日常的に積極的な発信を行う状況をつくる。
- 厳しい財政状況下において、令和7年度予算と同様にふるさと納税寄付金の実績を伴わない目標額を財源として計上することについて、市の考えは。
- 当初予算には、収支の均衡と新年度における市の姿勢・事業方針を示すという二つの側面がある。令和8年度のふるさと納税歳入予算額は後者の意味合いから、令和7年度の成果や課題、今後の取組改善点等を考慮し、5億円と設定した。令和7・8年度の実績や委員会での指摘を踏まえ、9年度の予算編成では適切に反映していく。

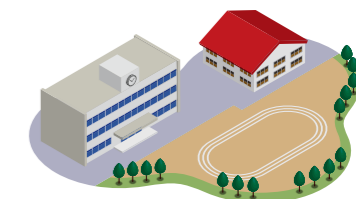


### (株)サンフラワーへの貸付金の回収と経営再建の見通し

- 令和7年度補正予算に続き8年度も予算計上されている(株)サンフラワーへの貸付金について、サンフラワービルの収益性向上や経営改善は厳しい状況にあるが、回収は可能か。また、経営再建への市の関与は。
- 市の貸付は3年間据え置きのため、同社のキャッシュフローで利息分を回収可能と見込んでおり、この2年間で段階的に貸付支援を行い、建物修繕と経営再建計画の策定を求めたい。同社は、ビル再建コンサルティング会社と相談し、近隣商業施設等の動向も踏まえた経営再建手法を協議していく考えのため、市も筆頭株主として進捗を注視し、経営安定化に深く関与していく。

### 小・中学校体育館空調設置事業

- 児童生徒数が多い大規模校への空調設備の優先設置について、税の公平性の観点から問題はないのか。
- 体育館への空調設置は全校に必要であると十分認識しているが、同時期の全校への設置は困難であるため、熱中症リスクの高い大規模校を優先している。全校設置の必要性の認識は変わらず、今後も計画的な実施の検討を進めるとともに、情報発信を通じて理解を得ていく。



### 学校給食にかかる給食材料費

- 令和8年度からの小学校給食費無償化にあたり、給食に実際にかかる経費について保護者への周知が必要では。
- 給食材料費は、保護者が負担している金額だけではなく、条例で定める金額や食材の物価高騰分といった市が負担している金額で賄っており、保護者に対して正しい情報をわかりやすく周知していきたい。



### 議論の結果は...



予算決算常任委員会では、新年度の各会計予算案を審査しました。このうち、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、市民病院事業会計の4つの予算案について、一部反対意見も出ましたが、賛成多数で可決しました。また、委員会採決後に提出された一般会計予算に関する附帯決議も賛成多数で可決しました。その後の本会議では、委員会で議論のあった上記4つの予算案と附帯決議は賛成多数で可決し、その他予算案は全会一致で可決しました。(附帯決議の詳細は7ページをご覧ください。)

市長提出議案 46件
議員提出議案 5件
請願 4件
陳情 3件



詳しくはこちら

全議員が賛成した議案

- 予算 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) など予算案件13件
条例 まち・ひと・しごと創生総合戦略応援基金条例の制定 など条例案件13件
その他 市道路線の認定 など事件決議4件、副市長の選任同意 など人事案件5件 議会委員会条例の一部改正 など議員提出議案3件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

全議員が継続審査とした請願

- 請願 市民センター窓口サービスの縮小・改定方針の中止を求める請願 請願1件

賛否が分かれた議案・請願(肥後淳三議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

Table with columns for item name, council members (創志会, さんだの未来, 市民とともに, 公明党, 日本共産党三田市議団, 日本維新の会三田), and results (賛成, 反対, 可決).

賛否が分かれた議案

- 議案第1号 令和7年度一般会計補正予算(第11号)
議案第6号 令和7年度市民病院事業会計補正予算(第3号)
議案第17号 地域医療確保基金条例の制定について



内容 第1号・第6号は令和7年度各会計予算を補正するもの、第17号は地域医療の確保及び充実に要する経費の財源に充てるための基金設置にあたり制定するもの

可決 賛成18名 反対3名

反対討論

議案第1号について、地域医療確保基金積立金は、3億円を新病院整備財源としており、病院の再編統合に反対であるため認められない。
議案第6号について、病院の再編統合を進める整備候補地基礎調査業務委託費などには、反対。
議案第17号について、基金を設置するとしても現市民病院の存続を目的とすべきであるため、反対。

賛成討論

議案第1号について、幼稚園施設維持補修費の減額は、三輪幼稚園の認定こども園化も選択肢に今後のあり方を検討することから民間事業者による設計等の選択の幅を持たせるために必要。
議案第6号について、整備候補地基礎調査業務委託における年度間の事業費の割り振り見直しは、病院の再編統合を進める上で必要不可欠であるため、賛成。

- 議案第7号 令和8年度一般会計予算
議案第8号 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算
議案第12号 令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第13号 令和8年度市民病院事業会計予算



内容 令和8年度の各会計予算を計上するもの

可決 賛成18名 反対3名

反対討論

議案第7号について、現市民病院跡地活用事業者選定事業費や、新病院整備関連事業費の病院企業会計への約8,000万円の支出など、厳しい財政状況下で大きな市民負担を強いてまで再編統合を進めるべきではなく、指定管理者制度も議会の権限や監視のあり方の変化等の問題がある。
議案第8号及び議案第12号について、子ども・子育て支援金分を国民負担により賄うことは問題であり、国民健康保険税は根拠条例改正の提案もされていないため、反対。

賛成討論

議案第7号について、ふるさと納税の歳入は、さらなる寄付拡大の姿勢や令和7・8年度の成果を改めて評価し予算反映を図っていくとの答弁から一定賛同できる。
議案第8号及び議案第12号について、子ども・子育て支援金は国民健康保険税の根拠政令が3月末交付予定のため条例改正前ではあるが、すでに議決済みで予算計上されている後期高齢者医療保険との整合性や制度周知の観点から予算計上は妥当であり、政策強化を要望し、賛成。

議案第21号 市民病院事業における指定管理及び地方公営企業法の全部を適用することから一部を適用することへの移行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について

議案第23号 職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

議案第26号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第39号 一般職の職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について



内容

第21号は市民病院の指定管理者制度の導入に伴う地方公営企業法の一部適用への移行にあたり規定整備のため条例の一部改正するもの、第23号は市民病院の指定管理者制度の導入に伴い実態に合った職員定数とするため条例の一部改正するもの、第26号は特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため条例を制定するもの、第39号は人事院勧告を踏まえた給与等の改定及び市民病院の指定管理者制度の導入に伴う規定整備のため条例の一部改正するもの

可決

賛成18名  
反対3名

反対討論

議案第21号、議案第23号及び議案第39号について、指定管理者制度の導入は、市民病院職員の公務員身分喪失や市への転籍、令和7年度末の約50名の退職等の問題に加え、厳しい運営による職員・患者へのしわ寄せや、議会への情報提供の懸念があるため、反対。

議案第26号について、こども誰でも通園制度は、自由利用における課題や子どもの分離不安等の可能性に加え、他制度の充実による解消が望め、制度として未成熟な部分もあるため現時点での本格実施には、反対。

(日本共産党三田市議員 長尾明憲)

賛成討論

議案第21号、議案第23号及び議案第39号について、指定管理者制度の導入に伴う所要の改正は、新病院整備事業の円滑な推進とスムーズな開院に必要不可欠であるため、賛成。

議案第26号について、令和8年度からのこども誰でも通園制度の全国導入に向け、給付費の支給に係る事業を行う者であることの確認基準を明らかとすることで運営事業者の質を担保し、安全・安心な事業になるものと考えて、賛成。

(公明党 福田佳則)

その他、以下の請願3件についても賛否が分かれ、討論を行いました。

請願第21号 ごみ処理手数料の導入をしないことを求める請願 (継続審査に付することについて)

請願第25号 財政ロードマップとの関係で再編統合による新統合病院整備をそのまま進めてよいのか、一旦立ち止まり市民的議論を求める請願

請願第26号 労働基準法を遵守し働きやすい病院とすることを求める請願

「第5次三田市総合計画後期計画特別委員会」を設置しました

3月定例会第4日に、「第5次三田市総合計画後期計画特別委員会」を設置する決議案を可決しました。この特別委員会では、第5次三田市総合計画後期計画に関する調査・研究及び審査を行い、市へ意見書を提出します。今後、議会としてしっかりと議論していきます。

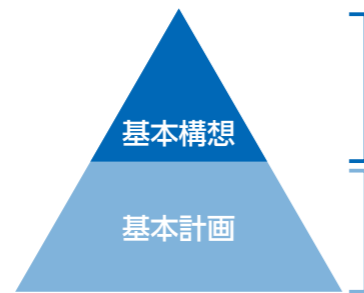
委員会構成

- 【委員長】 佐貫 尚子
【副委員長】 小杉 崇浩
【委員】 長谷川 良果、大西 憲司、假屋 浩司、村手 秀樹、水元 サユミ

総合計画ってなに?

総合計画は、市の将来像を長期的に見据えたまちづくりの最上位の計画です。計画期間は10年間で、前期5年間・後期5年間のそれぞれに対応する基本計画を策定します。

また、基本構想と基本計画で構成されており、基本構想は市のまちづくりの目指す方向性を示したもので、後期基本計画は、その実現に向け、前期基本計画の進捗や社会情勢の変化を踏まえて策定されます。



市が目指すまちの将来像 (令和4~13年度)

具体的な取組 (前期:令和4~8年度 後期:令和9~13年度)

附帯決議を可決



令和7年度一般会計補正予算に関する附帯決議
令和8年度一般会計予算に関する附帯決議



令和7年度一般会計補正予算に関する附帯決議及び令和8年度一般会計予算に関する附帯決議を賛成多数で可決しました。(各議員の賛否は4ページをご覧ください。)

決議案第6号「議案第1号 令和7年度一般会計補正予算(第11号)に関する附帯決議」

第三セクターである(株)サンフラワーへの貸付金について、第三セクターは自主的・主体的に健全経営に取り組むことや経営に必要な経費は事業収入をもって充てる独立採算制での運営が原則であり、市の財政的関与は税金を原資または担保とするものであることを踏まえ、貸付にあたり下記事項に留意するよう求めるもの。

- 1 (株)サンフラワーに対し、施設修繕に際し、必ず事前に計画書またはそれに準じる内容の書類の提出を求め、議会へ説明し了承を得ること。
2 (株)サンフラワーに対し、市貸付金については、執行額が確定した時点において不用額を貸付事項等目的外に充当せず償還させること。
3 貸付金が確実に関係機関に償還できるよう、(株)サンフラワーに対し、早期に経営再建計画を策定し経営健全化を目指すため、これまで以上に徹底した経営指導を行うこと。
4 (株)サンフラワーに対し、策定予定の経営再建計画及び関係機関への貸付金返済計画等、それに準ずる内容の書類の提出を求め、議会に対して経営状況等、適宜詳細な情報を開示すること。
5 (株)サンフラワーに対し、関係機関への貸付金返済計画の期間にとらわれることなく、できる限り早期に返済できるよう最大限努めることを要請すること。
6 経営再建計画の進捗状況を見極めながら、(株)サンフラワーの経営について、市の区分所有等を含め適時・適切に判断すること。

決議案第8号「議案第7号 令和8年度一般会計予算に関する附帯決議」

歳入について、ふるさと納税にかかる寄付金は、予算編成方針に反した実績に基づかない過剰な歳入見込みを計上しており、歳入準拠とされる行政サービスに対し看過できない影響を与えるものである。また、ペットボトル売払収入は、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書に基づく売買契約の公平性・透明性に疑念が生じるため、当該協定書に基づき有効期間満了6カ月前までに必ず意思表示を行い、公平・公正に資する取組とするよう求めるとともに、今後も厳しい財政運営が求められる中、令和9年度以降は必ず現実的な歳入見込みを考慮した予算編成とするよう強く求めるもの。

さらに、第三セクターである(株)サンフラワーへの貸付にあたっては、決議案第6号と同様の事項について、十分留意するよう求めるもの。



説明 附帯決議：可決された議案に対して事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもので、法的な拘束力はないが政治的に尊重すべきものとされている。

第三セクター：国や地方自治体と民間企業が共同出資して設立する公共性の高い事業組織体

# 質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

3月定例会では、6つの会派を代表する各議員が代表質問をしました。

質問時間は、答弁時間を含めて、会派割(40分/会派)に人数割(10分/人)を加えた時間としています。

(創志会:100分、さんの未来・市民とともに:80分、日本共産党三田市議団・公明党:70分、日本維新の会 三田:60分)



三田市議会会議録  検索

三田市議会ユーチューブチャンネル  検索

※本会議の録画映像を公開しています。

創志会

幸田 安司 議員



市民病院

## 市民病院の再編統合、進捗状況は

**議員** 医師不足、医療材料や物価の高騰、診療報酬改定、人口減少などにより、公立病院経営は全国的に厳しい局面を迎えている。本市においても例外なく経営環境は厳しい状況である中、済生会兵庫県病院との再編統合により持続可能な急性期医療体制を構築することは、地域医療を守る上で極めて重要な取組であるが、現在の進捗状況は。

### 新病院の基本設計等の策定を進めている

**市** 新病院基本計画を踏まえ、基本設計の策定を進めている。具体的には、建物全体の配置計画、各部門の機能に応じたレイアウト、患者及び医療従事者双方の円滑な動線計画等の詳細な検討を重ね、令和8年4月中の取りまとめに向けた作業を進めている。今後は、令和8年度に実施設計及び用地取得業務を中心に進め、その後建設工事に着手し、令和12年度中の開院を目指す。(田村市長)

交通安全

## 自転車に関する道路交通法改正に伴う交通安全教育を

**議員** 全交通事故に占める自転車関連事故の割合は増加傾向にあり、改正道路交通法では青切符の適用対象が16歳以上となるが、中・高校生世代の自転車事故が多発する中、学校現場への周知及び交通規則習得のための学習機会を設けるべきでは。

### 交通安全教室等により安全意識の向上を図る

**市** 市内中学校生徒へリーフレットを配布するとともに、各学校園には交通安全教室の活用による継続的な学習機会を提供する。市広報誌、市ホームページ、さんだ防災・防犯メール等で制度内容を発信し、安全意識の向上を図る。(井上危機管理部危機管理監)



**説明** 青切符(交通反則通告):一定の違反行為をした運転者に対して反則金の納付を通告するもので、令和8年4月より16歳以上の自転車の運転者も対象となった。

公園整備

## 三田谷公園ジョギングコースの維持管理は

**議員** ジョギングコース外周の路面の凹凸が著しく、地盤が削られ安全性が低下している。利用者からの身体的な負担の声もあり、雨水処理の構造的見直しや舗装方法の再検討を含めた抜本的な安全対策が必要では。

### 安全確保と利用環境の早期改善に向け対応する

**市** 怪我のリスクが高い箇所は、指定管理者と共有し早急に補修を進め、利用環境の早期改善に向けて対応する。また、根本的な排水機能の改善等、大規模修繕を伴う対策は、長期的な視点から維持管理費の平準化や長寿命化を踏まえながら、段階的かつ計画的に対応する。(高寺都市整備部長)

**他の質問** フラワータウン地区の再生について 他

さんの未来

佐貫 尚子 議員



市民病院

## 市民病院再編統合に向けた諸課題への対応は

**議員** 市民病院の再編統合が進む中、建築費高騰により総事業費661億円が財政に与える影響について、市民から不安の声がある。コスト削減を図り、限られた財源の中で機能整理と身の丈に合った施設規模や投資水準を検討すべきでは。また、市民への情報提供のあり方と跡地活用の方針について、市の見解を伺う。

### 総合的なマネジメント支援を受け事業を推進する

**市** コンストラクション・マネジメントによるコストと品質の均衡を重視した総合的支援を受け基本設計を策定中であり、財政的支援は国・県への要望を継続する。また、基本設計公表時に概算事業費や財政負担を示し、市広報誌や市ホームページ、市政出前講座等により市民へ切れ目ない情報発信を行う。跡地利用は、回復期医療や外来診療機能等を前提に市民の安心を創る場所として進めていく。(田村市長)



**説明** コンストラクション・マネジメント:建設プロジェクトにおける計画・設計・施工・維持管理の各段階を通じ、効率化・コスト最適化、品質の向上等を図るための総合的な管理手法



学校給食

## 学校給食を利用しない家庭への支援を

**議員** 学校給食無償化はすべての子どもを社会全体で支える制度であり、公平性の観点から不登校やアレルギー等で給食の提供が受けられない児童生徒の保護者に給食相当額を補助する他市事例もあるが、市の見解を伺う。

### 公平性と持続性の両面から研究していく

**市** 給食を利用していない家庭の状況把握に努め、財源のあり方や公平性、事務負担等を総合的に整理した丁寧な制度設計が必要である。家庭の経済的・精神的な不利益に直結しない仕組みとすることが重要であり、他市事例も参考に公平性と持続性の両面から研究していく。

(山本学校教育部長)

水道

## 災害時の水道業者の確保を

**議員** 災害時の水道インフラの安定維持・市民の安心確保には、現場を担う水道業者と指揮・管理する行政の体制が不可欠である。水道管更新工事等の継続的な発注による水道業者の技術継承や水道事業に特化した職員の長期的な人材育成が重要であるが、市の見解を伺う。

### 技術の継承や人材の確保・育成に努める

**市** 市が工事発注の長期的な展望を示すことで、水道業者の経営リスクの低減を図り、確保・育成・技術継承につなげたい。また、水道技術等に精通した市職員も不可欠であり、技術研修に積極的に派遣するなど、人材の確保・育成に努める。(中田上下水道部長)

**他の質問** 職員の働きやすい庁内環境と課題認識について 他

市民とともに  
橋本 維文 議員



人事政策

人事・任用政策の  
基本姿勢は

**議員** 職員が将来に希望を持ち能力を十分に発揮できる環境を整えることは、持続可能な行政運営と市民サービス拡充の前提であるが、人事院勧告への対応の遅れや、転任選考において受入人数に上限を設けた一連の対応が、本市の人事行政に対する信頼に悪影響を与える可能性について、市としてどのように認識しているのか。また、人材確保が課題となる中、職員を大切に作る姿勢が問われているが、今後の人事・任用政策の基本姿勢について市の見解を伺う。

安心できる職場づくりと信頼回復に努める

**市** 指摘されたとおりと認識している。人事院勧告に対する対応は今後、同様のことがないよう努めていく。人材確保の観点からも職員が安心して働き続けられる職場環境づくりに取り組む。(西尾総務部長)

学校施設

学校施設利用制度の  
見直しを

**議員** 中学校部活動の地域展開が進む中、平日夕方や休日の学校施設の利用のあり方が変わっていくが、学校施設目的外使用許可制度における施設の位置付けや校区制限等のルールは実態に合っているのか。地域クラブ活動の広がりも踏まえた制度のあり方について、市の見解を伺う。

制度見直しを研究していく

**市** 学校は教育施設・地域コミュニティの拠点施設であるという特性から使用者の多くが校区外住民である場合は使用を認めていないが、部活動の地域展開の状況や少子化の進行を踏まえ、校区制限の緩和も視野に入れ、今後研究を進めていく。(山本学校教育部長)

防災

廃校となった場合の  
地域の避難所確保を

**議員** 市立小中学校は地域の避難所として位置付けられているが、統廃合により学校が廃校となった場合、住民にとって極めて重要である各地域の避難所をどのように確保していくのか。

地域の实情に即した避難所を選定する

**市** 学校施設は地域の避難所として重要な役割を担っており、学校再編に伴い避難所として利用できなくなった場合には代替施設の確保が重要である。地域特性や住民ニーズを踏まえ、实情に即した安全で機能的な避難所を選定できるよう関係部署と連携しながら検討していく。

(井上危機管理監)

他の質問

公共交通環境整備について 他

日本共産党三田市議団  
木村 雅人 議員



市民病院

市民病院の再編統合は、  
今こそ考え直すとき

**議員** 資材費や人件費の高騰に加え長期金利の上昇など、新病院整備費と事業債償還金のさらなる増大は、市財政全体に影響を与える最重要問題であり令和8年度予算ともかかわるため、総額見込みを3月定例会中に示すべきでは。また、再編統合に係る基本協定締結時から情勢は大きく変化しており、市民病院の再編統合は今こそ考え直すときであるため、改めて撤回を求める。

事業費抑制に取り組み、着実に推進していく

**市** 概算整備費は現在、基本設計の策定段階であり試算ができないため3月定例会中の公表は難しい状況である。また、新病院整備事業は地方交付税措置の対象となる建築単価や県補助金の見直し要望を行うなど財源確保の取組を継続するとともにコンストラクション・マネジメント等の活用によって事業費抑制に取り組み、着実に推進していく。(奥原地域医療推進担当部長)

財政

大規模投資事業は中止・  
延期など慎重な検討を

**議員** 金利の上昇により、現在進めている複数の大規模投資事業の利息負担が増大する。特に、市民病院の再編統合は市財政の悪化により、将来世代に過大な負担を強いることになる。大規模投資事業の中止や延期など、慎重な検討をすべきでは。

影響度を確認し、抑制や備えを慎重に検討する

**市** 大規模投資事業はいずれも未来への投資として必要な事業であり、議会の承認を得ながら進めてきたものである。中止等を前提に検討はしないが、財政収支見通しを基に投資経費全体での影響度を確認し、その抑制や備えについて慎重に検討していく。(櫻井財政部長)

公民連携

公民連携における公の  
あり方は

**議員** 市は公民連携を進めているものの問題が多く、協定による民間事業者の選定基準などの契約法令との関係や市民への情報提供のあり方などに懸念があるが、公でなければ果たせない役割も多い。公民連携における公のあり方について、市の見解を伺う。

基本指針の検証と必要に応じた見直しを行う

**市** 福祉、教育、災害対策等の基礎的サービスの安定的な提供は、公民連携の取組においても変わらず、公平性、公正性、透明性を確保しながら適切に進めてきたが、疑義が生じないように改めて公民連携基本指針の検証と必要に応じて見直しを行う。(田村市長)

他の質問

地方自治法改正について



公明党

大西 雅子 議員



財源確保

### 財源をつくりだす取組により、活力ある三田へ

**議員** 収支不足が見込まれ厳しい財政状況となることが想定される中、市民の幸福度を高め誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることが重要である。そのためには、寄付を募る対策、安定した市税増収につなげる産業振興や新たな産業創出などの財源を生み出す事業、健康寿命の延伸を図り歳出を抑制する事業が必要であると考えるが、市の見解を伺う。

#### 財源確保や税収増、歳出抑制に向け取り組む

**市** ふるさと納税はさらなる寄付拡大に向け、まちづくりへの共感等につながる使途拡大と魅力的な返礼品づくりに努める。また、産業団地の推進と並行して産業振興及び地域経済の発展を図り、雇用創出や移住定住促進による市税収入の増につなげる。さらに、地域や民間事業者と連携し、さまざまな健康づくりの輪を広げ、市民の健康寿命の延伸と歳出抑制につながる取組を行う。(田村市長)

資源循環

### 資源循環に向けた取組を

**議員** 消費量が増えている紙おむつは、焼却処理に伴う二酸化炭素排出や焼却炉の負担の課題があり、再生への取組が必要では。また、廃食油のSAFへの活用や余剰食品を必要な人へつなぐ事業も必要と考えるが、市の見解を伺う。

#### 市民の機運を高めながら資源循環の取組を進める

**市** 紙おむつのリサイクルは第5次一般廃棄物処理基本計画策定にあたり、資源循環に資する取組として課題提起し、議論する。廃食油はSAFへの活用も見据え、回収拠点の拡大とリサイクル意識の向上や循環利用の機運を高める啓発活動を行う。また、庁内外での連携を深め余剰食品を活用した支援を推進する。

(横溝市民生活部長)

説明

SAF：廃食油などを原料として製造される環境負荷を軽減した持続可能な航空燃料

地域コミュニティ

### 地域が担う業務の見直しを

**議員** 地域が担う役割は大きいですが、業務量や責任の重さから役員の担い手不足や自治会退会者の増加が問題となり地域社会への大きな影響が懸念されることから、早期に業務の効率化や負担軽減につながる対策が必要では。

#### 持続可能な地域活動となるよう負担軽減に努める

**市** 市の依頼業務は、必要性を検証し、引き続き総量の減に向け整理・検討を行う。また、地域の主体的な活動は、まちづくり協議会や市民活動団体等と連携し役割を外から担ってもらえるよう地域担当職員が中立的な立場で調整等を行い、地域の安心・安全という役割を持続可能な形で支えていく。

(横溝市民生活部長)

**他の質問** 三田市の観光戦略について 他

日本維新の会 三田

福本 愛 議員



子どもの声

### 子どもの声を聴き、市政へ反映する仕組みを

**議員** 子どもたちの視点を市政に取り入れることは、10年後、20年後の市の未来を見据えたまちづくりにつながる重要な取組である。当事者である子ども自身の思いや実感を受け止め市政に生かすことで、より実効性のある政策につながると同時に若者がまちづくりに関心を持つきっかけになると考える。遊び場や学習スペースなど居場所のニーズも含め、意見をどのように把握し、市政へ生かすのか。

#### 多様な機会や手法で意見を聴き、市政へ反映する

**市** 高校生議会の提案から保護猫活動や防災イベントなどが実現している。また、令和7年度は中学生未来トークを試行し、63件の提案に市の見解を回答した。こども食堂訪問やタウンミーティング、市長への手紙、令和8年度に開催を検討している中学生サミットなどを通じて子どもたちの意見を聴き、市政へ反映していく。

(松本子ども・未来部長)

学校給食

### 食育や地域のつながり強化、給食の質的向上を

**議員** 令和8年度からの給食費無償化を機に、給食を活用した食育と地域のつながり強化や地産地消の推進と給食の質的向上に取り組むべきでは。

#### 意見交換の場の創出と地場産野菜の使用促進に取り組む

**市** 給食を囲みながら自由な意見交換や情報共有ができる場の創出を検討し、学校・家庭・地域と給食センターが一体となった食育を推進する。また、引き続きJAや食品業者等の関係機関の協力を得ながら地場産野菜の使用促進を継続・発展させ、三田ならではの魅力を詰めこんだ給食の提供により給食の質向上につなげていく。(田村市長)

広報

### 市ホームページの利便性向上とAI技術の活用を

**議員** 市ホームページの情報が探しにくい課題に対し、情報の精査・更新を徹底するとともに、AI技術を活用して24時間いつでも手続き等を案内できるシステムの導入を検討すべきでは。

#### 既存機能の活用とAI検索の研究に努める

**市** 対象者数や時期的要因により問い合わせが多い情報を精査し視認性を高め、情報の最新化や定期更新を徹底するなど、既存機能を活用した利便性の最大化による市民サービス向上に努める。また、AI検索の導入可能性を注視しつつ、AI検索に適したホームページづくりを研究する。

(西垣戸総合政策部長)

**他の質問** 高校教育改革への三田市の取組・関与と県立高校の将来について 他



# さんだ声ひろば

with 市議会

## 意見交換会を開催します!

市民のみなさんからの市政に対するご意見・ご提案をいただき、今後の議会活動に活かしたいと考えています。今回はテーマを設定しています。お好きなテーマのお時間にお越しください。複数回参加可能です。みなさんのご参加をお待ちしています。



参加は申込制 (先着順)  
手話通訳・要約筆記・一時保育あり

7月26日(日)

開会時間	テーマ	担当委員会
午前10時 開会	防犯、防災、人口減少対策、地域医療など	経営政策常任委員会
午後1時30分 開会	子育て支援、健康増進、学校教育など	福祉教育常任委員会
午後4時 開会	公共交通、農業、里山整備、地域振興など	生活地域常任委員会

開催場所：市役所6階 委員会室

- \* 各時間に主なテーマを設定していますが、テーマ以外の内容についてもお話しできます。
- \* 受付は、開会時刻の30分前からです。各回の所要時間は90分程度を予定しています。
- \* 申込方法や詳しい内容は、市ホームページや議会事務局窓口でご案内しています。

市ホームページで「さんだ声ひろば」と検索するか、右記2次元コードからご確認ください。

さんだ声ひろば



【お問い合わせ】 三田市議会事務局 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992  
Email: gikai\_u@city.sanda.lg.jp

特集

## 三田市高校生議会

未来を担う高校生が、三田のまちをつくる当事者としてどんな活動をし、どういった役割を持つことができるかを主体的に考え行動するきっかけとなることを目指し、2月1日に高校生議会が開催されました。市内8校から22名の高校生が参加し、市政に対する質問・提案を行いました。

どんな質問をしたの?

議長  
(前半) 三田西陵高校 多田羅 白瑛さん  
(後半) 三田西陵高校 胸永 龍菜さん

詳細は、右記二次元コードからご覧いただけます。▶



学校名	議員名	提案
ひまわり特別支援学校	鈴木 陽菜、川崎 悠大	好きな時、好きな所へ行ける三田をめざして
有馬高校	今山 空、安達 市花、岸本 美咲	子ども食堂への前向きな理解と知名度向上について
クラーク記念国際高校 三田キャンパス	株本 育海、濱西 航大	マスコットキャラクターを活かして三田の魅力をもっとアピールしよう!
三田祥雲館高校	岩坪 大輔、内村 鷺己、押場 悠生	グローバル化に対応したまちづくり
三田松聖高校	榎本 準、北山 耀、山野 友誠	相野地区とウッドタウンを結ぶ新しい交通手段
三田西陵高校	多田羅 白瑛、梶口 真凜、胸永 龍菜	三田市の特産物について
三田モードビジネス専門学校	杉本 翔歩、瀬戸 七帆、奥野 心結	高校生が誰でも気軽に自分らしさを発揮できるコミュニティづくりについて
北摂三田高校	大西 勇翔、西本 奏音、下村 紗英	新たな地域教育を支える、放課後学習会の活性化に関する提案

### 高校生議員の皆さんに聞きました

#### 参加した理由

- 18歳で選挙権を持つ前に政治を体験し、自分の将来やまちのことを真剣に考える場にしたかった
- 大人になってからはなかなか経験できない、今しかない貴重な機会だと思った
- 大人になったとき、この挑戦が必ず自分の力になると思い、立候補した
- 困っていることなどの現状を知ってもらい、市をより良くしていきたいと思った
- 自分や身近な人が体験し、不便に感じていることを直接伝えられた
- 学校の授業や探究活動の一環として先生に勧められた
- 地域社会について探究する学習があり興味をもった など

#### 参加した感想

- 理想のまちを実現するために何ができるのかを深く考える大切な時間となった
- 今日で終わりではなく、これを通過点として市への提案を続けたい
- 自分たちの提案が実現に向けて動いてほしいと思った
- 高校生の今だからこそできる貴重で学びの多い経験だった
- 半年かけて仲間と共に取り組んできた成果を本番ですべて出し切ることができた
- 皆さんが聞きながら聞いてくれ、自分たちの考えや思いをしっかりと伝えることができた
- 他の高校生議員のレベルの高さに刺激を受けた
- 議場は緊張したが、人前で堂々と話す経験ができてよかった
- ボランティアなどで市の活動を支えていけたら嬉しい など

#### 議長講評

高校生議員の皆さんには、高校生の視点を取り入れた身近な課題からご提案をいただきました。その内容から分析すると、「人の移動を含めた居心地のよいまちであること」と、皆さんが育っていく過程で醸成される「ふるさととしての誇り」が戻ってきたいまちにつながるのだと思います。その根底には「人」があり、まちづくりは「人と人との交流」であることを改めて強く感じる事ができました。

皆さんのご提案から、これからのまちづくりに影響をもたらす、若者を元気にする政策が出てくるのではないのでしょうか。この経験を生かし、ふるさと三田を居心地の良いまちにするため、これからも学び活動していただき、近い将来、三田のまちづくりを担っていただけることを大いに期待し、講評とさせていただきます。(三田市議会議長 肥後 淳三)